

小松市こどもの居場所づくり業務プロポーザル審査結果

1. プレゼンテーション審査

プレゼンテーション審査を行い、委員から多く第1位の順位を獲得した事業者であるB社を当該委託の受託候補者として特定した。

(評価得点の内訳)

評価得点(配点)	A社	B社
第1位獲得数	0	5
第2位獲得数	5	0
合計得点(100点×5人)	210.00	303.75
平均点(合計得点/5人)	42.00	60.75
順位	2位	1位

(審査項目及び評価基準)

審査項目		評価基準	評価点
業務 実施 体制	業務実績	これまでの実績から本業務を遂行するノウハウを豊富に有しているか。	10
	業務体制	提案内容を確実に遂行できる業務実施体制として十分な人員が配置されており、課題解決に対する知見・適応力があるのか。	10
	業務工程	工程管理の方針、考え方のもと、適切かつ具体的に遂行可能なスケジュールとなっているか。	5
企画提 案内容	居場所の運営	支援を必要とする児童が、安全にかつ安心して、継続して過ごすことが可能か。	10
	アセスメントと継続的な支援	利用者をも的確にかつ個別性をもってアセスメントし、状況に合わせて継続的で将来を見通した支援を行うことが出来るか。	10
	居場所での体験	身につけることが望ましい生活習慣や学習等が、児童自身の希望や興味も踏まえて体験することが可能か。	10
	事業周知と利用に向けた工夫	事業に関して積極的に周知し、利用が適切と判断される児童の把握および利用につなげる工夫がなされているか。	10
	地域の実情の把握と連携	地域資源の把握が十分行え、関係機関等のネットワーク形成が可能か。	10
	事故発生時の対応	事故発生時や緊急時の対応・体制は十分か。	10
	意欲・柔軟性	事業実施に向けて、市と一緒に意欲的に本業務を実施することができるか。また、事業内容やスケジュールの変更等柔軟な対応が可能か。	10
価格 評価	提案価格	本実施要領に基づく提案上限額の範囲内であり、ほかの提案価格との比較において優位性があるか。	5
合計			100

(審査委員からの評価コメント：プレゼンテーション審査)

	主な評価内容
A社	<ul style="list-style-type: none">・具体的にどういったことを運営していくかがよくわからなかった。・積極的に提供するというより積極的に受ける印象。・PULL 型・「様々な年代の方」「様々な経験」の内容をもう少し具体的に聞きたかった。・本事業の意義への理解度、人材配置に不安あり。・本事業の対象者に専門的知識を持って対処できるのか。・介護事業者による子供対応はどうか。・人件費の積算が大雑把。・母体事業形態の財務規模は大きい。・食を共にすることは子供たちにとってとても大切なことなので、夕食を一緒に作るなどの体験は、毎回行ってほしい。・放デイの運営をある程度経験した後、今回のような事業への参加を期待する。・熱意はとても伝わった。
B社	<ul style="list-style-type: none">・（これまでも）大変意欲的に活動しており頭がさがる思い。・提案内容が積極的・PUSH 型・沢山の体験があり素晴らしいが、今回の対象者は、これまでの子どもたちと少し対応が異なると思うので、今後子供らと一緒に歩いていける場所になるとよい。・これまでの活動と本事業の相違点と心理支援に関するつながり（ネットワーク）の2点について今後少しずつでも取り組んでほしい。・本事業の意義の理解を深めること。人材配置への不安あり。・要対協の言葉を知らないが、これから学んでいきたいという点で正直さ・意欲を感じた。・市内全体への周知を人づて以外に広く知ってもらう方法が必要。・経営面でサポートする人材が必要。